

留学だより No.4

こんにちは。カナダに留学している森田です。早いもので 2025 年も残り少しとなりました。今回はクリスマスについて書きます。一大行事を味わっていただけたら幸いです。

実は 12 月 1 日から 1 月 2 日までの一か月間限定で違うホストファミリーにお世話になりました。フレンチカナディアンのマザーとイタリアンのファザーです。元のホストファミリーは今回のホリデー期間旅行に行く予定があり、私は次世代リーダー育成道場の規則で留学期間中、海外（カナダ外）に行くことができないため、同行することができませんでした。そこで元々はホリデー期間（12 月 18 日～）のみ臨時のホストファミリーと過ごすはずだったのですが、彼らがお互いをよく知りクリスマスを楽しむために月初めから来てほしい、と言ってくださったことが経緯です。結果この一か月を通して家族との絆が深まり、たくさんのカナディアンな経験をさせていただくことができ感謝の気持ちでいっぱいです。

前置きが長くなってしまいましたが、ここからはクリスマスにしたことを紹介します。初めに軽くクリスマスの起源を紹介します。クリスマスはキリスト教の祝日でイエスの誕生を祝う日です。実は、イエスは 12 月 25 日ではなく本当は春ごろに生まれたそうです。しかし、春はイースター（イエスが復活した日）と被るため、カソリック教会が長い冬を乗り越えるためにも、ということでこの日を祝日と決めました。寒く、暗い冬には多少の日程の違いはあれども人々は祝日、祭りを必要とします。実際に 12 月下旬から 1 月上旬にかけて様々な宗教、民族のお祝いがあります。そのため、キリスト教限定の Marry Christmas という代わりに Happy Holidays ということを好む人もいます。でも多く人は行く先々で出会った人に実際に Marry Christmas と言っており、その度にクリスマスが多くの人にとってとても大切なイベントなのだなと感じました。

～クリスマス準備いろいろ～

12 月に入れば（早い人はハロウィンが終わったところから）みんながクリスマス気分で、プレゼント、料理の準備を始めます。私もツリーのデコレーションやクッキー作り、クリスマスミールの用意などに参加しました。また、ホーム・アローンやザ・サンタクロースなどたくさんのクリスマスムービーを観てクリスマススピリットを楽しみました。



ホストマザー手作りの treat、クリスマスクッキーたちです。私のお気に入りにはジンジャークッキー（奥）とバタータルト（手前左）とピケンパイクッキー（手前右、ナッツが入ったクッキー）です。すごく甘いですが、すごくおいしいです。たくさん食べました。

～12/19 クリスマスディナー～

ガールズだけでクリスマスディナーに出かけるのがホストファミリーの恒例行事だそうです。今年は私も高級なイタリアンレストランに連れて行ってもらいました。大人のホストシスター二人と一緒にこの日ドレスアップするためのショッピングに行ったのも楽しかったです。素敵な「非日常体験」でした。



デザート、ティラミスとの写真です。ここまでにはサラダ、パスタ 1.5 人前（マザーが食べきれなかった分）、大きくて柔らかいお肉を食べており、すでにおなかいっぱいでしたが、やっぱりデザートは別腹です。

～12/24 クリスマスイブ～

この日はパジャマムービーナイトでした。パジャマを着てチャーリーブラウン・クリスマス、グリーンチ、ア・クリスマス・キャロルを観ました。キリスト教では元々、クリスマスイブには肉を食べないという決まりがあるため、マザーもファザーも子どもたちは肉ではなくエビやカニなどを食べたそうです。今は厳格に守る人は少なく、私の家ではエビやスティック野菜、チーズに加えてソーセージやサラミなどの盛り合わせがテーブルに並び、各自でピックアップするスタイルでした。



サプライズでバッファロープリントのパジャマをもらいました。ホストシスターの犬も含めておそろいです。

～12/25 クリスマス～

朝、家族が集まってから軽い朝食を取り、遂に 90 個近くあったプレゼントの開封作業が始まりました。プレゼント開封の儀式は家庭によって様々なようですが、私の家では一人ひとりがプレゼントを開封するのをみんなが見守るスタイルです。私はそれぞれのプレゼントをみんなのもとに運ぶ“エルフ”（小人）の役を担いました。服やコーヒーマーカー、もこもこ類（あったかいです）など本当にたくさんのプレゼントをもらいました。その後はファザーサイドの家族とイタリアン・クリスマス・ランチでした。パスタ、ロースト、グリル野菜、デザートととても豪華でした。



左はツリーとプレゼントたちです。ラッピングも重要なパートです。でも開封するときはみんな容赦なく包装紙を破きます。私は初め抵抗がありました。右はもらったうさぎのもこもこスリッパです。あったかくて、とてもお気に入りです。

～12/26 ボクシングデイ（Boxing Day）～

昔、お金持ちの家の使用人がクリスマスの残りの料理やプレゼントをもらって過ごしたことに由来する日です。この日はマザーサイドの家族とフレンチ・カナディアンなクリスマスディナーでした。ターキーやマッシュドポテト、ミートパイなどカナダらしい品揃えでした。



肝心の料理の写真を撮り忘れましたがテーブルの写真で雰囲気だけでも。

このように、食べて、食べて、食べまくったクリスマスでした。でも食べただけではありません。食事の醍醐味はやはり会話です。この期間たくさんの人たちに会い、たくさん会話をしました。クリスマスは親戚が集まりコミュニケーションをとる大切な場なのだと知りました。

ここまで、クリスマス一本建てで書いてきました。クリスマススピリット、みなさんにも伝わったでしょうか。このような素敵な経験ができたのは一か月という短い期間にもかかわらず私を家族の一員として受け入れてくれたホストファミリーのおかげです。クリスマスだけでなく、ドライブや普段の会話、外食などを通してたくさんのカナダ、サドバリー（私が暮らしている町）の歴史や文化、また人とのつながりの大切さを教えてもらいました。本当に感謝してもしきれません。この一か月間、たくさん甘やかしてもらったおかげでほとんど勉強をしませんでした。1月には学校も始まり忙しい日常が戻ってきます。この期間でたまったエネルギーを源にまた頑張りたいと思います。クリスマスで帰省していた一緒に暮らしている留学生や元のホストファミリーとそれぞれのホリデイについて共有するのも楽しみです。最後まで読んでいただきありがとうございました。

みなさんも大切な人たちと素敵な冬休みをお過ごしください。

17 期 森田



2026 年は午年ということで馬です。
エージェント企画のプチ旅行で留学生
総勢 20 人以上が乗ったソリを引いて
くれました。